



見たつもり、点検ミスが事故まねく ～ヒューマンエラーをなくそう～

畑仕事中の事故に注意 春の農作業安全運動実施中

県下全域で「春の農作業安全運動」が展開されています。ここ10年、全国での農作業中の死亡事故はほぼ横ばいの状態で推移しています。単純ミスを防ぎ、安全な農作業を心がけたいものです。

産業課 ☎ (56) 2226

4月1日から5月31日までの2カ月間、県下全域で「春の農作業安全運動」が展開されています。

農作業事故は、毎年全国で数多く発生しています。農作業中の死亡事故（全国）は、平成19年が397件。過去10年にわたり、ほぼ横ばいの状態にあります。農業従事者が減少している中、10万人当たりの件数は増加している状態で、全産業の中でもトップクラスの発生件数となっています。

県内でも8人の死亡事故を含み、多数の農作業事故が発生しています。農業用機械による事故に加え、畑での転倒や転落による事故なども見られます。

春は、茶生産者の事故が発生しやすい季節です。平成21年には、春の農作業安全運動期間中にもかかわらず、連続して茶生産者の死亡事故が発生しています。新茶の時期は、摘採作業に加え、工場での荒茶製造など、長時間・長期間にわたる労働になり、注意力の低下が懸念されます。できるだけ適度に休息をとり、心身ともに健康な状態で作業しましょう。

【農作業事故を防ぐ5つのチェック・ポイント】

- 1 農業用機械の管理・利用は適切に**
毎日の作業前には、必ず日常点検を実施しましょう。また、定期的に整備工場で整備しましょう。
- 2 適度な休息を取りましょう**
長時間労働は、注意力を低下させ、事故をまねく要因となります。適度に休息をとり、心身ともに健康な状態で作業しましょう。
- 3 小型機械でも油断大敵**
歩行用トラクターなど小型の機械でも、使い方を誤れば死亡事故につながります。十分注意して操作するよう心がけましょう。
- 4 農業機械以外にも注意を**
農作業中の死亡事故は、機械によるもの以外にも焼却作業中に火傷や転倒、熱中症など多岐にわたって発生します。すべての農作業に危険が伴うと認識しましょう。

農作業事故の多くが、単純ミスによるものであり、注意すれば防ぐことができます。チェックポイントを確認し、事故の原因を取り除きましょう。



FM島田と川根本町が災害時放送協定を締結

町外通勤者に情報提供 FM島田と災害時放送協定

FM島田と川根本町が「災害時放送協定」を結びました。本協定は、町外通勤者に対して大きなメリットがあると担当課では話しています。それは一体なぜなのでしょう。

総務課 ☎ (56) 2220

一昨年10月、島田市に開局した地域コミュニティラジオ局「FM島田」。島田、藤枝、焼津など可聴エリアの地域情報や地元的话题をFMラジオで提供しています。

今年発生したチリ地震の際には、津波警報を放送するなど、地域住民が必要とする情報をいち早く提供。災害時の情報源としても、大きな役割を担っています。

このFM島田と川根本町はこのほど、災害時放送協定を結びました。同協定の締結は、島田市、藤枝市、焼津市、吉田町に続いて5自治体目です。FM島田の可聴エリアに川根本町は含まれていません。しかし本町には、島田市や藤枝市など町外に通勤する人が多くいます。今回の協定には、こういった町外通勤の人に対して大きなメリットがあると本庁総務課地域支援室では話しています。「大きな災害発生時には帰宅困難となる人が多く発生する可能性があります。そういった人たちが、FM島田を聞いて災害情報を

仕入れたり、本町の状況を知ることには大きな意味があります。万一の際の情報伝達手段として、有効活用していきたいと考えています。

調印式は3月29日午後2時、本庁応接室で開かれました。この日出席したFM島田の内藤洋一代表取締役社長と佐藤公敏川根本町長が、互いに協定書に調印し、災害協定が締結されました。この協定は同日から効力が発生するということです。

佐藤公敏町長は今回の契約締結に対し「現状、本町でFM島田を聞くことはできませんが、町外に通勤されている方などにとって、非常に有効な情報ツールとなりえます。今回の協定締結は『安心・安全なまちづくり』への一つの手段。今後も、さまざまな機関と協力して、災害に強いまちづくりを進めていきたいと思っています」と話していました。

